

道 建 労 協 機 関 紙



Council of Road Construction Worker's Unions(C.R.U)

道路建設産業労働組合協議会

〒104-8380 東京都中央区京橋1-19-11 (NIPPO 労働組合内)

電話03 (3563) 6744

URL: http://www1.ocn.ne.jp/cru

2008年 年頭挨拶

道建労協加盟単組の組合員ならびにご家族の皆様、新年明けましておめでとうございます。

年頭にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

平成の時代を迎えてから二十年、人生に置きかえれば成人式という、節目の年にさしかかりました。日本経済は息の長い景気拡大を続けていくと言われながらも、少子高齢化、年金問題など数多くの不安材料を抱えております。また、我々建設産業においては、原油価格の高騰によるアスファルトの値上げ、公共工事縮減、人員の不足感など、まだまだ動向を注視しなければならぬ局面が続くでしょう。

ここで、皆様の昨年を振り返ってみて下さい。身のまわりに様々なことが起きたような気がするが、大きな変化はなかったかもしれない、果たしてどうだったのかと考えてしまう方が多いのではないですか。取り巻く環境の移り変わりが激しすぎて、膨大な情報の川を泳いでいるうちに、つい大事な情報を見逃してしまっているのではないでしょうか。それを見逃さないようにいつも「感受性」というアンテナを高く広く張り巡らせることが大切になってきます。

今後様々な「判断」をしなければならない時、自分の感受性を信じて判断できるよう、平成20年は自分の感受性を守り、高める一年にしたいものです。

道建労協は23年目を迎えました。設立以降に生を受けた方々の中からも、道路建設産業で働く仲間となる皆さんがいます。若い力をこれからも大切に、皆が「元気」に生きて行ける活力ある道路建設産業を目指し、活気ある組合協議会活動を行いたいと考えます。

最後になりますが、本年が皆様とご家族にとってすばらしい一年となりますよう祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

(議長 大場 信秀 NIPPO労働組合)



企 業 訪 問

道建労協では、11月と6月を「土曜閉所強調月間」として、組合員の実質的な休日取得増加を支援し、総労働時間の短縮を目指した取り組みを行っているが、その一環として加盟単組企業及び道建協・日合協に対して、運動に対する理解と協力を要請している。本年度は、昨年10月15日の道建協・日合協訪問を皮切りに、大成ロテック(株)・東京舗装工業(株)・大林道路(株)・三井住建道路(株)・フジタ道路(株)・(株)NIPPOコーポレーションの6企業を訪問した。

各社、労働時間問題については、休日取得を促進する制度制定や、労働時間に関する委員会を設置するなどしているが、現場で働く従業員に対してどこまで意識を浸透させられるかが大きな課題となっているようである。

従業員の業務負荷増大による健康障害や、建設業に対する若年層離れなど、業界全体が抱える課題としての認識をより深め、労使が一体となり実質的な改善を進めなければならない。1月30日開催の労使セミナーにおいても、労働時間問題、仕事と生活の調和をテーマとしているが、今年度も魅力ある道路建設産業の実現にむけた地道な運動を継続していく。



『魅力ある業界』へ

近年、道路工事について、マスコミの報道ではマイナスのイメージしか公表されていない風潮があります。無駄な道路建設、何度も同じ箇所を打換え工事を行っている等です。

道路づくりは経済活動、生活を担う基幹産業です。我々から見ても本当に必要な性に疑問を感じる道路や、打ち換える必要のない道路工事があるのも確かです。しかし、現実は無駄で意味のない工事ばかりではないと思っています。

我々は一般の人を対象にして道路づくりに関する情報をもっと幅広く伝える活動を行うべきだと思います。工事看板で工事の目的を掲げた看板で内容を明記したりしているところが多いですが、現場付近の住民の方に説明会を開く等、やり方は色々あると思います。組合活動も他の産業の方と交流できる場でもあるのでPRできるチャンスのある場でもあると思います。

2008年は道路工事が世間に理解され、期待される業界に变身できればと思っています。今日この頃です。

東亜道路労働組合

平野 和雄

フリーウェイ

地協のない地域の交流会



四国地区

平成19年11月20日、ウェルシティ高松にて、四国地区交流会が、本部役員3名5単組14名の参加により開催されました。



大場議長の挨拶に引き続き、出席者の自己紹介、道建労協の活動報告の後、四国地区における「労働環境における問題点」「地域特有の問題点」について意見交換がなされました。

各種問題点では、「土曜閉所・休日取得の取組」「日々の時短」が焦点となり、各単組が抱えている問題点、また創意工夫を凝らした取組が発言され、出席者同士とても参考になったと思います。

会の最後に大林職組の中島書記長から出た「新入社員を預がったときの良い点・悪い点」という議題では、各単組から多数発言され、当業界の若年層離れや、魅力ある業界作りに至るまで活発な意見が交わされました。その勢いで懇親会に場所を移し、熱い会議の名残りによる影響が、はたまた四国という土地柄が、酒量も進み大いに盛り上がりしました。

明石・瀬戸大橋開通後、近年不景気な四国地区で各単組とも厳しい環境下に置かれておりますが、同業間の垣根を超えた、このような交流の場はとても有意義であることから、これに限らず若手組台員・女性組台員等も交えた交流会の開催も企画していくことなども話しつつ、盛会の内に終了いたしました。



四国地区交流会 幹事 小田 勝也（大成口テック社員組台）

中国地区



平成19年11月21日（火）昨年に引き続き広島市内のホテルセンチュリー21広島において本部役員3名、6単組15名の参加で「中国地区交流会」が開催されました。開会の挨拶の後、出席者から自己紹介を行い、昨年から引き続き参加の方、初参加の方、職種も様々な中、今回は特に『土曜閉所強調月間の取り組み』『時短・休日取得問題』について意見交換がなされました。



各単組の具体的な取り組みが紹介されやはり土曜閉所、休日取得の難しさ、時短の難しさが浮き彫りになりました。そんな中、曜日毎でのノー残業デー実施、ISOを始め社内書類の簡素化などで時短の工夫がなされているという紹介もありました。

改めて職場内でのコミュニケーションそして何よりも私たち一人一人がもっと意識を持って取り組むことが非常に大切であることを再認識しました。

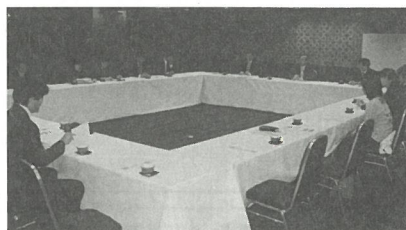
その後、懇親会ではお酒も入ったこともあり、意見交換会の時よりも和やかな雰囲気の中、日頃の業務・組合活動などなど情報交換がなされ親睦が深まりました。最後に次回の開催を誓い一本締めて閉会となりました。

中国地区交流会 幹事 尾崎 秀一（東亜道路労働組台）



九州地区

道建労協の活動の一環として、平成19年11月22日に東京第一ホテル福岡にて、5単組16名、本部より3名の計19名（内女性6名）により九州地区交流会が、開催されました。



交流会の議題は、労働環境における問題点として、11月土曜閉所運動の取り組みと、日々の時短、休日取得問題についての意見交換が行われました。

各単組の工夫や改善策を知ることができ、組織の違いや職種によって様々な問題点や意見があることがわかりました。又、女性の割合が多く、女性の質問や意見等も知ることができ、いい刺激になった交流会となりました。

普段は交流のない各単組ですが、道路業界でのつながりを大事にし、懇親会の後でも各単組別々になることなく、最後まで一緒に盛り上がりしました。

今回の会場は今年限りでなくなるそうですが、交流会はまだまだ続けてほしいと思います。

九州地区交流会 幹事 金丸 久伸（大林道路職員組台）



地協活動報告



関東地協

定期総会及びレクリエーション開催

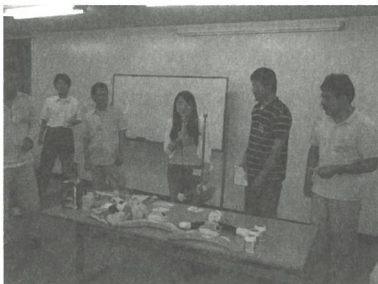
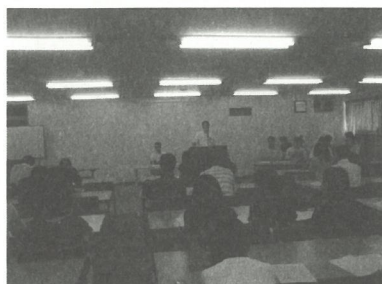
平成19年9月8日(土) 高田馬場駅近くのシチズンプラザにて第18回道建労協関東地協の定期総会及びレクリエーション活動が執り行われました。

第一部の定期総会では、式次第に従い出席なされた方のご協力もあり議事は滞りなく進行し総会も無事に終わりました。

第二部のレクリエーション活動では、昨年に引き続きボーリング大会を同日に開催し、総勢40名位の参加があり大変盛況に執り行われました。また、大会終了後の懇親会では、男性・女性の上位3名の表彰式及びビンゴゲームを行い楽しいひと時を過ごしました。

道建労協関東地協の活動は、限られた予算の中で行うため、各単組の協力によって行われております。

来年度も幹事が中心となって、関東地協の活動を盛り上げていきますので今後ともご参加の程ご協力お願い致します。 関東地協 幹事 矢嶋 剛義 (フジタ道路職員組合)



定期総会開催



北海道地協第17回定期総会が、平成19年11月2日(金)ノボホテル札幌にて開催されました。

来賓として、本部より大場議長の出席を頂き、加盟6単組35名の出席により、06年度経過報告、会計監査報告、07年度運動方針(案)等について審議され、いずれも満場一致で可決されました。

引き続きの懇親会では、各単組の様々な意見交換が行われ、情報交換の場として、有意義な会でありました。

今年度の運動方針の中で、交流会を6月札幌地区、7月帯広地区にて開催予定です。少ない開催ですが、内容を充実して各単組組合員のご協力を得ながら幅広い活動を行っていきますので、ご協力よろしくお願い致します。

北海道地協 事務局長 滝川 一郎 (NIPPO労働組合)



中部地協

クリスマスパーティー開催

昨年12月18日(火)建設連合愛知、UFJニコス労組との共催による、毎年恒例のクリスマスパーティーを開催しました。今年も大勢の組合員の方々に参加していただき、大盛況でありました。そんな中でも特に盛り上がった場面は、東海4県(愛知、岐阜、三重、静岡)の「市」の名前を使ったビンゴゲームです!盛りだくさんの豪華賞品に、身近なテーマである事も手伝ってか、会場内は大きな笑い声と歓声につつまれました。ビンゴゲーム終了後は各単組対抗のゲーム大会(ビールジョッキ早飲み、コーラ早飲み、紙コップを使ったピラミッド作り)が行われ、結果は女性パワーを見せつけたUFJニコス労組さんが優勝し、幹事から賞品が授与されました。

最後に中部地協の宮澤議長の締めでお開きとなりましたが、参加された皆さんはいつまでも名残惜しそうに会場に残っていたのがとても印象的でした。

中部地協 事務局長 杉山 陽一 (前田道路労働組合)



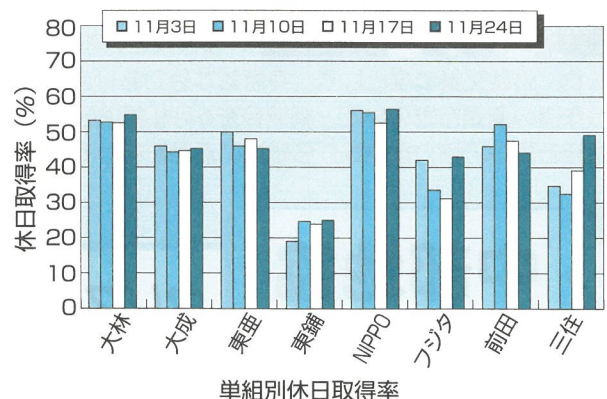
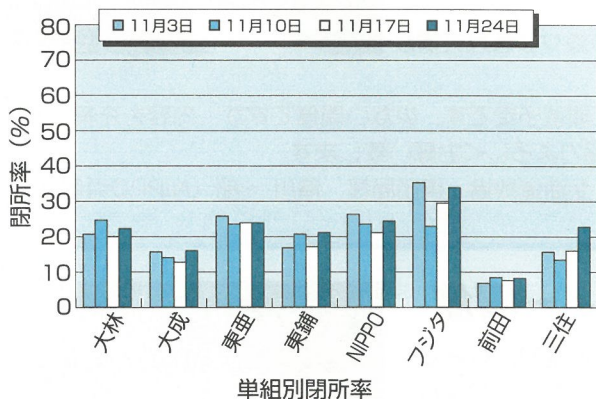
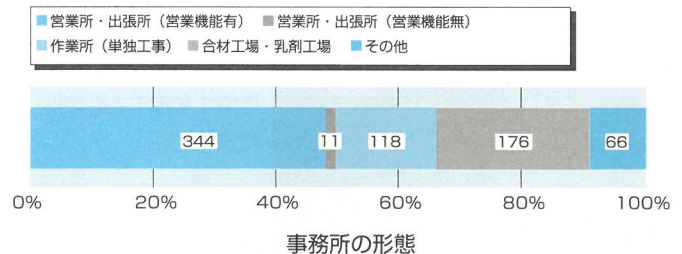
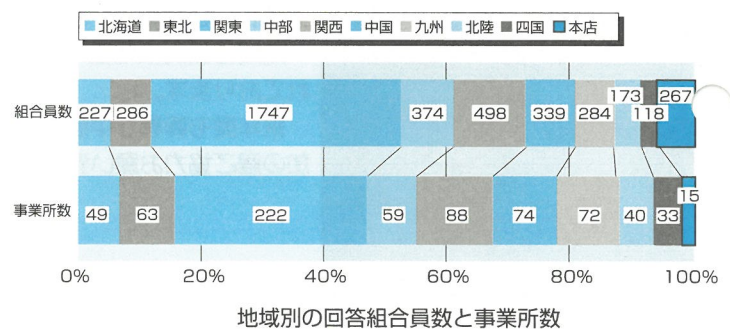
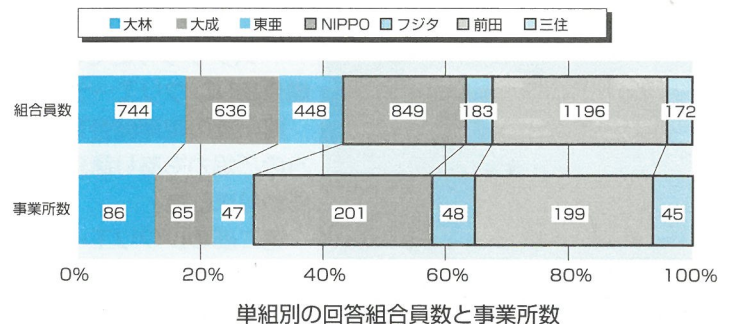
土曜閉所推進運動アンケート結果(2007年11月)

道建労協では、建設産労懇（建設産業労働組合懇話会）の仲間とともに、毎年11月と6月を事業所の土曜閉所推進運動強調月間と位置付けて、総労働時間の短縮に向けた運動を展開しています。『休みます！ 宣言 高らかに土曜閉所』という標語が記載されたポスターを道建労協加盟単組の各事業所に配布して閉所を呼びかけると共に、道建労協に加盟する組合の企業や関係団体等に要請書を提出し、事業所閉所運動への協力を呼びかけました。

1992年から取り組んできた本運動も今年で15年を経過しましたが、組合員の皆さんによりいっそうの理解と協力が得られるよう、今後もねばり強く運動を展開して参ります。

これら取り組みの結果を調査するため、2007年11月に全事業所を対象にアンケート調査を実施しましたので、結果につきまして報告させていただきます。

全国の平均閉所率は17.9%となり、昨年11月の調査に比べ2.0%上昇しました。地域別では、北海道・東北・関東・関西・中国・四国の各地域で前年より閉所率が上昇し、単組別では大林道路職員組合が約20%改善するという結果となりました。

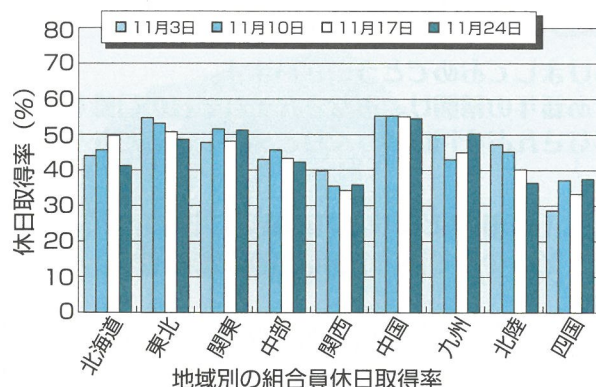
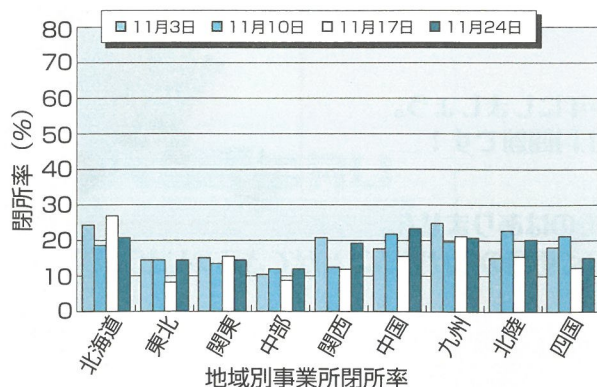


単組別・週別閉所率

	11月3日	11月10日	11月17日	11月24日
大林	20.9%	24.4%	19.8%	22.1%
大成	15.4%	13.8%	12.3%	15.4%
東亜	25.5%	23.4%	23.4%	23.4%
東舗	16.7%	20.8%	16.7%	20.8%
NIPPO	26.4%	23.4%	20.9%	23.9%
フジタ	35.4%	22.9%	29.2%	33.3%
前田	6.5%	8.5%	7.0%	8.0%
三住	15.6%	13.3%	15.6%	22.2%
全体	18.7%	17.8%	16.4%	18.9%

単組別・週別休日取得率

	11月3日	11月10日	11月17日	11月24日
大林	53.4%	52.8%	52.0%	54.3%
大成	45.9%	44.3%	44.0%	44.7%
東亜	49.6%	45.8%	47.3%	44.9%
東舗	18.8%	24.7%	23.5%	24.7%
NIPPO	55.9%	55.4%	52.1%	56.2%
フジタ	42.1%	33.3%	30.6%	42.6%
前田	45.7%	52.3%	47.2%	43.5%
三住	34.9%	32.6%	38.4%	48.8%
全体	48.4%	49.0%	47.0%	48.0%



地域別・週別閉所率

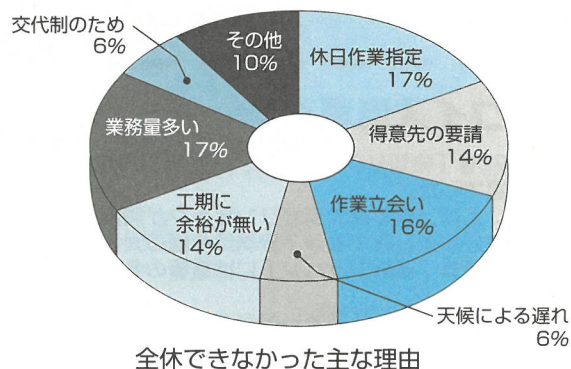
	11月3日	11月10日	11月17日	11月24日
北海道	24.5%	18.4%	26.5%	20.4%
東北	14.3%	14.3%	7.9%	14.3%
関東	14.9%	13.5%	14.9%	14.4%
中部	10.2%	11.9%	8.5%	11.9%
関西	20.5%	12.5%	11.4%	19.3%
中国	17.6%	21.6%	14.9%	23.0%
九州	25.0%	19.4%	20.8%	20.8%
北陸	15.0%	22.5%	15.0%	20.0%
四国	18.2%	21.2%	12.1%	15.2%

地域別・週別休日取得率

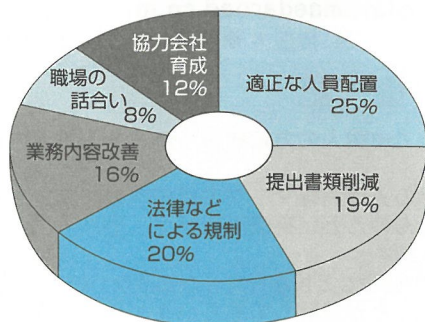
	11月3日	11月10日	11月17日	11月24日
北海道	44.1%	45.8%	49.3%	41.0%
東北	54.5%	52.8%	50.3%	48.3%
関東	47.5%	51.5%	47.6%	51.1%
中部	42.8%	45.7%	42.8%	41.7%
関西	39.6%	35.5%	33.9%	35.7%
中国	54.9%	54.9%	54.6%	54.0%
九州	50.0%	43.0%	44.7%	49.6%
北陸	47.4%	45.1%	39.9%	35.8%
四国	28.8%	37.3%	33.1%	37.3%

事業所を閉所できない理由としては、『休日作業指定の工事があるから』と『業務量が多いから』が17%と最も多く、『下請け・作業員の作業に立会う必要があるため』が16%、『営業打合せ、作業打合せなど得意先からの要望』、『工期に余裕がないから』が14%と続きました。

過去のアンケートと比較すると、『天候による遅れ』や『交代制のため』という回答が減っているにも関わらず、休日取得率に目立った改善が見られない点から、組合員一人あたりの業務量が増加傾向にあることが伺えます。



全休できなかった主な理由



休日取得・時短推進のため望むこと

道建労協は、企業訪問を行い各企業トップの方々に本アンケート結果を提示し、現状の説明と総労働時間短縮に向けた改善要請を引き続き行くと共に、道建協、日合協の本部、支部に対しても土曜閉所運動への理解と協力を訴えていきます。次回6月も『土曜閉所強調月間』と指定して閉所への取り組みを強化していきますので、皆様のご理解とご協力をお願い致します。業務多忙の中、アンケートに協力頂きました組合員の皆様、ありがとうございました。

休日取得や時短を進めるために、今後望まれる点は、『適正な人員配置』が25%と最も多く、次いで『法律などによる規制』が20%、『提出書類の削減』が19%、『業務内容の改善』が16%、『協力会社の育成』が12%、『職場の話し合い』が8%でありました。

適正な人員配置を望む声は特に地方に集中しており、慢性的に人員の不足感があることが伺えます。

物知リクイズ

あけましておめでとうございます。

さあ新年の幕開け、みなさんそれぞれの目標を掲げ邁進し、良い年にしましょう。

みなさんお正月はゆっくりと過ごしましたか？今回はそんなお正月問題です！



Q1 日の出ほどありふれた情景にもかかわらず、人の心を打つものはありません。

その中でも初日の出は格別なものです。そこで日本で一番早く初日の出が見ることができるのはどこでしょうか？

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 犬吠崎（千葉県） | 2. ノサップ岬（北海道） |
| 3. 富士山頂（静岡県・山梨県） | 4. 八丈島（東京都） |

Q2 お正月のかがみもちは飾ったでしょうか？

さてかがみもちの上ののっている「橙（だいたい）」にはどのような意味があるのでしょうか？

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 代々栄えますように | 2. 代々幸せに暮らせますように |
| 3. 代々金銭運がありますように | 4. だいたい良い年になりますように |

Q3 昔はもらっていたのに、今は配る人……。

収入から支出に変わったお年玉ですが、昔はお金の代わりに何が配られたのでしょうか？

- | | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| 1. お米 | 2. お餅 | 3. お酒 | 4. お菓子 |
|-------|-------|-------|--------|



Q4 おせち料理の中でもお屠蘇をいただくための「祝い肴」といえば、「黒豆」「田作り」と、もう一つは何でしょう？

- | | | | |
|----------|-------|--------|-----------|
| 1. 栗きんとん | 2. 海老 | 3. 数の子 | 4. 紅白かまぼこ |
|----------|-------|--------|-----------|

物知リクイズ当選者

PAVE第72号「物知リクイズ」は、スポーツの秋にちなみ「ゴルフ」の問題でした。

スポーツといえば、今年は北京オリンピックが開催されます。皆さんはどの競技が楽しみですか？野球は今回の大会でなくなるそうですから、是非「星野ジャパン」には最後の金メダルを獲ってほしいですね！

全問正解者多数につき、抽選で当選者を決定させていただきました。当選者の方々には粗品をお送りします。ご応募ありがとうございました。

前回の答え

- | | |
|----|--------------|
| Q1 | 4. 1億7,800万円 |
| Q2 | 2. ジョニー |
| Q3 | 2. アルバトロス |
| Q4 | 3. ハニカミ王子 |

当選者

- | | |
|-------|---------------|
| 西川 武志 | 大林道路職員組合 |
| 中村 勝 | 大成ロテック社員組合 |
| 水戸部 健 | 東亜道路労働組合 |
| 前原 泰明 | 東亜道路労働組合 |
| 千葉 龍三 | NIPPO労働組合 |
| 福田 知勇 | NIPPO労働組合 |
| 前田 勉 | 前田道路労働組合 |
| 佐藤 由美 | 前田道路労働組合（敬称略） |

これからも **物知リクイズ** をよろしくをお願いします。

〈応募方法〉

下記を明記してお送りください。正解者の中から抽選で粗品をお送りします。たくさんのご応募をお待ちしております。

●解答 ●住所（会社宛の場合は会社名もご記入ください）

●氏名 ●所属単組名

●今回の紙面でよかった点、気づいた点がありましたらご意見も是非お寄せください。

●締め切り 2/29（金）

●宛先 〒141-8665

東京都品川区大崎1-11-3 前田道路労働組合内

道路建設産業労働組合協議会『PAVE』宛

FAX 03-5487-0051

E-mail:kumiai@maedaroad.co.jp

※次号は6月発行の予定です。

編・集・後・記

先日、ある駅で中国人の方に成田空港までの電車の経路を聞かれました。

驚くことにその人は路線マップの成田空港を指差しながら、日本語はもちろんのこと、英語も話せず、全て中国語でまくしたててくれるだけです。

当然こちらも中国語など挨拶程度しか知らないで、片言の英語？で説明し、なんとか理解してもらいましたが、その人はお礼も言わず、大声で叫びながら仲間の元へ行ってしまいました。

現在「中国」は世界で最も勢いのある国と言っても良いでしょう。今までは人口の多さのみでしたが、今や経済成長率等も含め先進国を追い抜かず勢いがあります。

その自信が、今回の出来事につながる事は無いとは思いますが…。今年は「北京五輪」開催の年。注目される国と共に、わが国の隣国である中国の言葉を全く知らない自分の無知に反省しながら、課題の英会話の他に、中国語会話も習得しようと新年の寒空に決意しました。（大成ロテック社員組合 友岡 英雄）